平成30年度 認知症地域支援推進員
活動報告書

（富田林市）

≪普及・啓発≫

第９回　とんだばやし認知症市民フォーラム
～広げよう認知症予防、活用しよう在宅医療～

平成30年11月17日（土）：すばるホール　4F　銀河の間

12:30　開場　（※相談、測定等13:30受付終了）

もの忘れ簡易チェックテスト、ロコモ度テスト、血糖・血圧測定、糖尿病食・介護食試食、服薬ゼリー体験、健康・介護・栄養相談、脳トレ、パネル展示等を行います。

14:00　開会　（※16:00　閉会）

●表彰式:「感想文を書こう！MEET★富田林コンクール」

認知症に関連する本を読んで小学生・中学生が書いた感想文の優秀作を表彰します。

●パネルディスカッション:「今日からできる！認知症予防のポイント」

専門職のそれぞれの立場から、認知症予防のポイントについてお話します。

・整形外科医　・内科医　・歯科医　・薬剤師

●講演:「富田林市における在宅医療について」

～認知症になっても安心して暮らすためには～

認知症をはじめ、さまざまな病気になっても住み慣れた自宅で安心して暮らすために、活用できる在宅医療と看護の仕組みについてお話します。

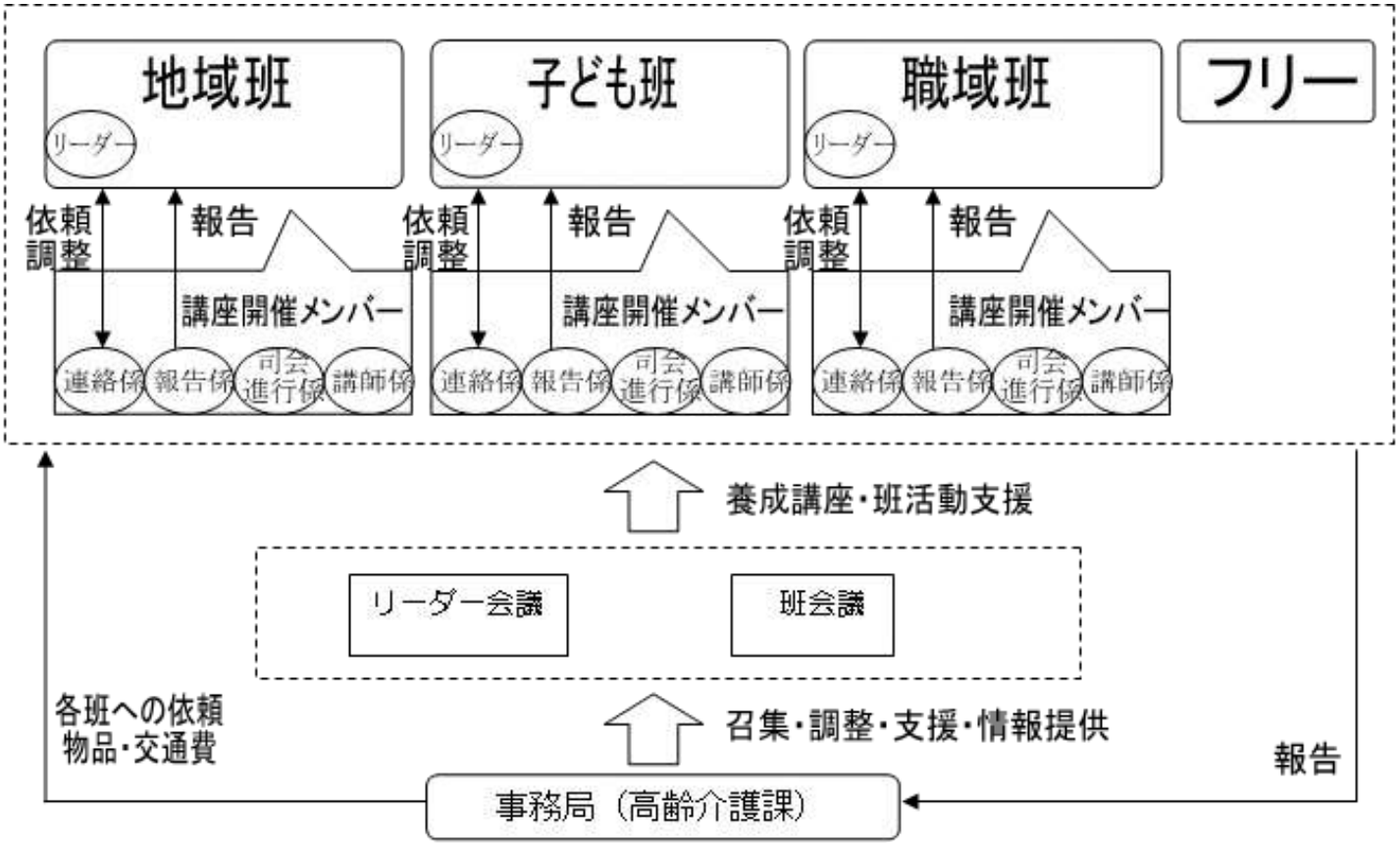
・認知症サポート医　・訪問看護師

共催：富田林医師会／富田林歯科医師会／富田林薬剤師会／富田林市

後援：大阪府済生会富田林病院／ＰＬ病院／大阪府富田林保健所／富田林市社会福祉協議会／（一財）富田林市福祉公社／大阪大谷大学／富田林市在宅介護支援センター

協力：とんだばやし地域活動栄養士会／縄なわねっと（富田林介護保険事業者連絡協議会）／要約筆記グループ「はなみずき」／富田林市手話通訳者

≪キャラバン・メイト組織図≫

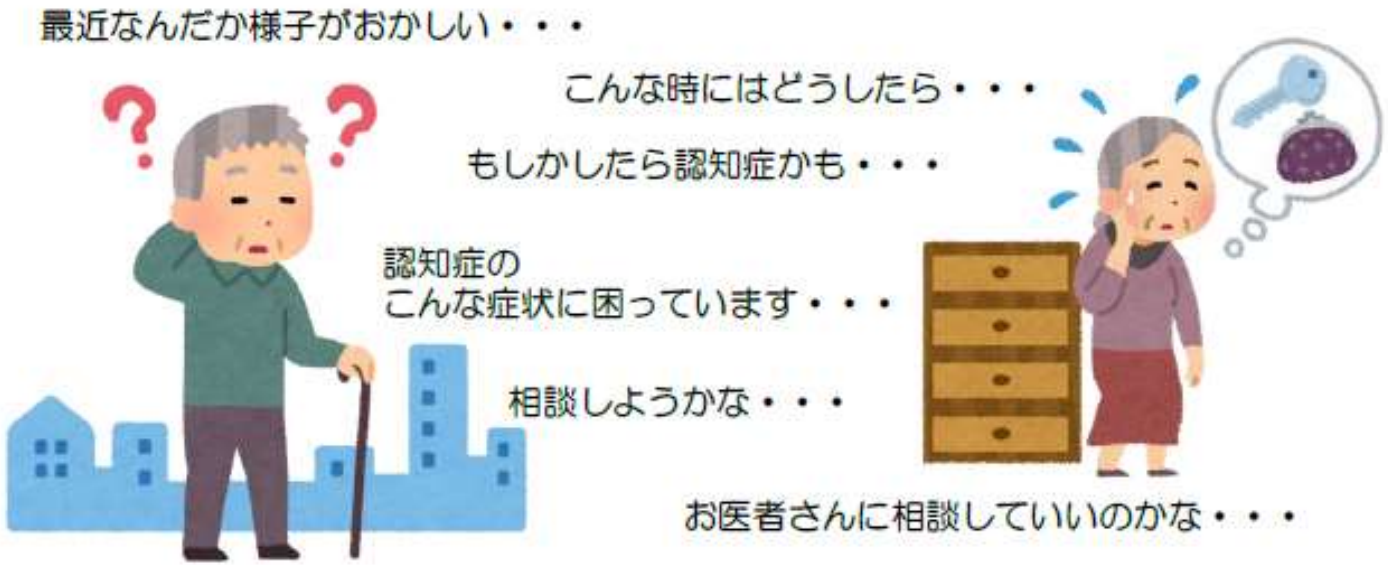


≪認知症サポーター≫

	平成30年度 （11月末現在）	累計
養成講座開催数	17回	321回
認知症サポーター養成数	291人	9,933人

≪もの忘れ医療介護相談≫

『認知症サポート医と
ほんわかセンターによる相談窓口』を開設します



対 象 者 ：　富田林市在住の概ね６５歳以上の人またはその家族、ケアマネジャー等の支援者

内　　容 ：　認知症の症状、ケアに関する相談支援や情報提供を行い、必要に応じて、かかりつけ医や

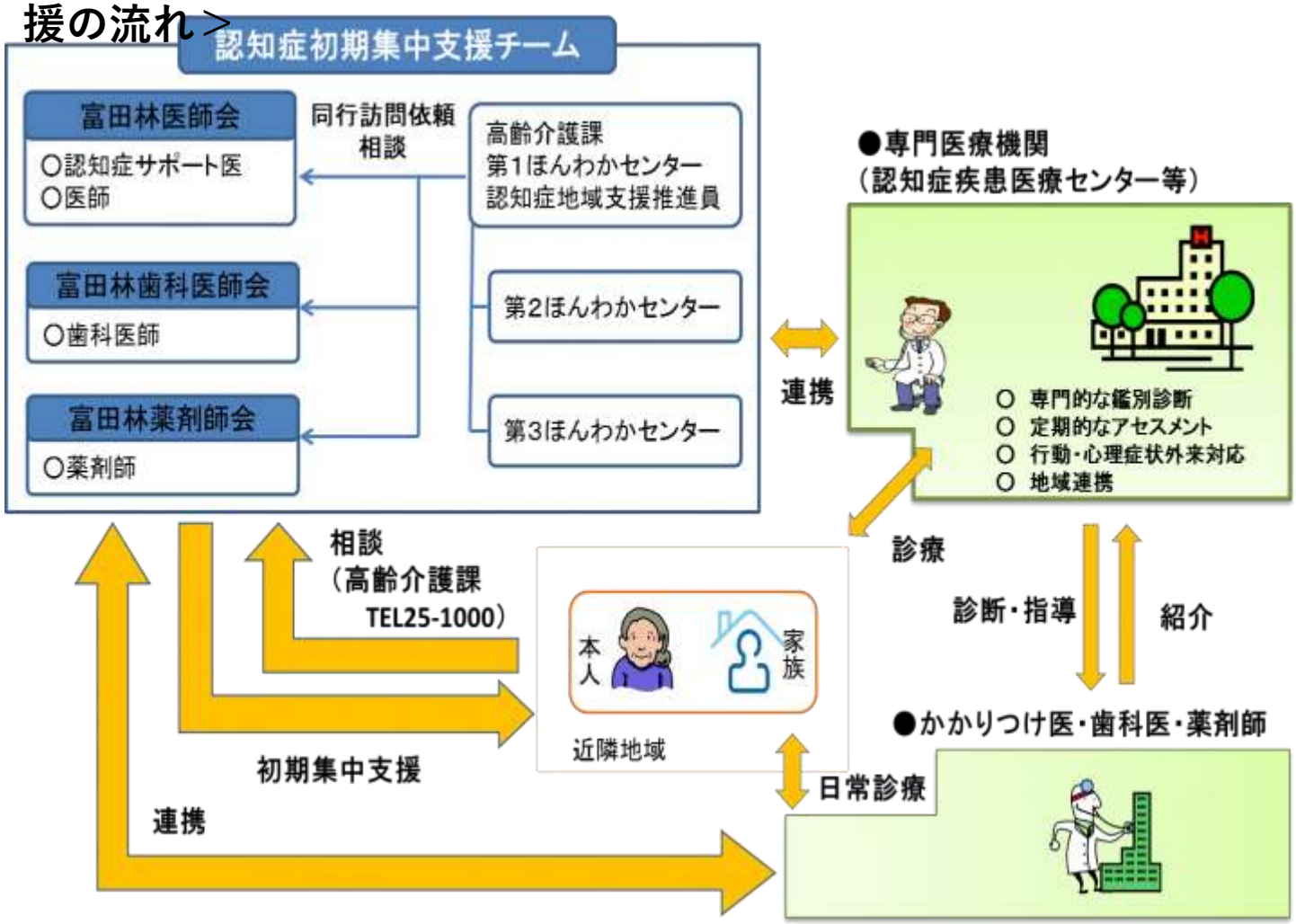
専門機関、 介護保険事業者との連携を図る。

対 応 者 ：　認知症サポート医、第１ほんわかセンター・主任ケアマネジャー

開設日時：　原則第１・第３水曜日　１３：３０～　※事前予約制により１回につき２組まで

≪認知症初期集中支援チーム≫

＜富田林市における「認知症初期集中支援」体制図＞



＜初期集中支援の流れ＞

認知症が気になったら・・・

↓

① 市高齢介護課へ相談・依頼

② 情報収集・アセスメント

③ 同行訪問の相談・調整

④ チーム員会議の開催

⑤ 必要な支援の実施

⑥ 関係機関との連携・引継ぎ

⑦ モニタリング

≪認知症ケアパスの作成・普及≫

富田林市版認知症ケアパス（抜粋）

Ⅰ．富田林市　認知症の人を支える社会資源の整理シート（地域の社会資源を認知症の生活機能障害ごとに整理する）

認知症の生活機能障害 ＼ 支援の内容	Ⅰ 認知症の疑い	Ⅱ 認知症を有するが日常生活は自立	Ⅲ 誰かの見守りがあれば日常生活は自立	Ⅳ 日常生活に手助け・介護が必要	Ⅴ 常に介護が必要
	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成等を含め、日常生活は自立している	買い物や事務、金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者の対応などが１人では難しい	着替えや食事、トイレ等がうまくできない	ほぼ寝たきりで意思の疎通が困難である
相談	ほんわかセンター（地域包括支援センター）P2：このシートの裏・在宅介護支援センターP32・コミュニティーソーシャルワーカー事業P5				
進行予防（通う場所）	福祉委員会・いきいきサロンP6～P11 地域介護予防普及教室P13 老人クラブ P5 介護予防・日常生活支援サービス事業P28 介護予防サービスP28 認知症カフェ（このシート右に掲載）				
安否確認・見守り 権利擁護・家族支援	配食サービスP35・緊急通報サービスP35・徘徊高齢者SOSネットワークP34 位置検索用端末機の貸与 P35 鶴亀携帯版の発行 P35　救急医療キットの配布・活用 P35 日常生活自立支援事業「ほっと」P5 認知症介護家族の交流会 P33　介護者家族の会の支援 P４ 民生委員 成年後見制度 P35 認知症サポーター（このシートの右に掲載）				
生活のサポート	介護サービスP28　訪問介護　訪問リハビリ　通所介護　短期入所生活介護　福祉用具貸与など いっぷくシステム P5				

≪「若年性認知症支援のてびき」の作成・普及≫

若年性認知症支援のてびき

ご本人・ご家族・支援者のために

～生活を支える制度と将来設計～

改訂版

認知症 深めよう理解、つなごう支える手

～あなたのことばで安心できる人がいます～

MEET☆TONDABAYASHI

みんな 笑顔に 元気で 生きつづける

平成３０年３月

富田林市　高齢介護課

第１・第２・第３ほんわかセンター

≪若年性認知症の方への支援シートの作成≫

若年性認知症の方への支援シート

第（　）ほんわかセンター

対象者	氏名：　　生年月日：	住所：　　電話番号：	
相談者	□本人 □配偶者 □子ども □親 □CM □その他（　）	相談者の連絡先：	
初回相談	平成　年　月　日　対応者（　）	□電話 □家口 □訪問 □その他（　）	
主な相談内容		介護認定 □あり（　）□なし □申請中	

・若年性認知症支援てびきと一緒に決定する資料（渡した資料に○をつけてください。）障がい福祉事業所のファイルも活用してください。
（ほんわかセンターリーフレット、自立支援医療対象病院一覧と制度のご案内、精神保健福祉の手引き、介護保険のパンフレット、家族交流会の案内）

・毎月開催している看護職会議にて他包括へも報告し、一緒に支援について検討する。
・受診結果は、本人・家族から報告してもらう。１度目の受診で異常がなく、それでも症状が続くときは再受診を検討する。

診断・治療や医療面の支援	必要性	案内（相談者に説明済み✓）	対応	てびき参照	説明日サイン
・専門的な医療機関の受診 有（医療機関名：　　）・無	□	□	かかりつけ医から専門病院を紹介してもらうよう提案。	p17	
・診断、検査	□	□	脳神経内科センターや専門病院を紹介。		
・現在の症状、困っていること ［　　］					
・若年性認知症についての知識	□	□	症状や特徴を説明	p1～p5	

就労・就事・貯蓄・介護の支援	必要性	案内（相談者に説明済み✓）	対応	てびき参照	説明日サイン
・仕事を続けるための支援	□	□	休職・復職・再就職・転職の支援	p12③	
・作業所など福祉的就労のための支援	□	□	障がい福祉との連携	別冊 作業所一覧	
・家事を続けるための支援	□	□	介護保険、有料サービスの説明（シルバー人材センター、いっぷくサービスなど）	p10	
・子育てを続けるための支援	□	□	子どもの未来、CSW、SSWとの連携		

社会保障制度の活用	必要性	案内（相談者に説明済み✓）	対応	てびき参照	説明日サイン
・精神障がい者保健福祉手帳の取得	□	□	※初診日より６ヶ月経過後、在職中に手帳を取得。	p6～p7	
・自立支援医療の申請	□	□		別紙一覧	
・高額療養費助成制度の活用	□	□		p8	
・傷病手当の活用	□	□		p8	
・特別障がい者手当の活用	□	□		p8	
・障がい年金の対象確認	□	□	※初診日に就労中であること。	p9	
・その他所得の補助となる制度の活用	□	□		p10	
・日常生活自立支援事業や成年後見制度の活用	□	□		p10～p11	
・介護保険サービスの活用	□	□		介護保険パンフレット	
（現在の病状や取り巻く環境、家族の介護負担から検討）	□	□			
・ＳＯＳネットワーク、安心携帯カードの活用	□	□		p16	

介護方法や本人へのかかわりに対する支援	必要性	案内（相談者に説明済み✓）	対応	てびき参照	説明日サイン
・交流会や認知症カフェの紹介	□	□	認知症の人とみんなのサポートセンター・認知症の人と家族の会大阪支部などの紹介。	p13～p15	
・家族の会やサポートセンターの紹介	□	□			
・生活上の支援、工夫	□	□		p11～p12	
・ほんわかセンターの活用	□	□	関係機関と連携することを説明。	p19	
・子どもへの支援	□	□	子どもへの説明		

≪認知症介護家族の交流会≫

ひとりで悩まず、

ホッとひと息つきましょう。

認　知　症
介護家族の交流会

頑張っていること、困っていること、聞いてみたいこと・・・
同じ立場の人たちと思いをわかちあい、介護のヒントを見つけませんか。

対象者：富田林市在住で、認知症の人を介護しておられるご家族

※認知症の人が市内在住の場合、市外にお住まいのご家族も参加できます。

※当日は、認知症のご本人もぜひ一緒にご参加ください。

参加費：無料

各回、講話のあとに、喫茶と交流会があります。

平成30年度の年間予定

月　日	場　所	内　容
5月23日（水）	富田林市立保健センター	認知症サポート医を交えて情報交換をしよう
7月25日（水）	富田林市消防本部視聴覚室	各種施設の特徴を知ろう
9月26日（水）	富田林市立金剛公民館	認知症の人への接し方を考えよう
11月28日（水）	富田林市役所401会議室	認知症ケア上級専門士のお話
1月23日（水）	富田林市立金剛公民館	認知症の人・家族の栄養の話
3月27日（水）	富田林市役所904会議室	利用できる社会資源を知ろう

●時間はいずれも午後1時30分～3時30分です。

とっぴー

申し込み：富田林市役所　高齢介護課

電話：0721-25-1000（内線 189・197）FAX：0721-20-2113

≪「MEET☆富田林 推進員」出張研修
≫

「MEET☆富田林 推進員」出張研修

『MEET☆富田林 推進員』とは

＝富田林市では、「ＭＥＥＴ★富田林 推進員」を１５名養成し、以下の活動を行っています。＝

○介護保険事業所を対象として、認知症ケアに関する出張研修の講師や企画・調整等を行います
○市やほんわかセンターと連携し、さまざまな認知症施策に取り組んでいます
○認知症の人や家族、地域の介護従事者からの認知症ケアに関する相談対応や支援を行います

『認知症ケア出張研修会』

「ＭＥＥＴ★富田林 推進員」が介護保険事業所へ出張し研修を実施します。事業所内で実施する研修会や勉強会の機会など、お気軽にご相談ください。

また、ケアマネジャーを受講対象とする場合は「専門職としての内容でケアマネジメントに資する」効果がある事業として実施し、３つのメニューを修了後に修了証を発行します。

【時　　間】 約９０分　※開催時間は日中や勤務終了後などご希望に応じます。
【対 象 者】 市内の訪問・通所・施設・地域密着型サービスなどの事業者。
　　または、介護従事者５人以上のグループ
【費　　用】 無料
【研修テーマ】 ３つのテーマから選択していただけます。

アセスメントツール	事例研究会	家族支援
【テーマ】 本人の思いを知ろう ～「気づき・歩みよりシート」を使ってみてください～ 【内 容】 (1)学ぼう「認知症の人の気持ち」 (2)グループワーク ①本人の思いに近づこう ②より良い支援につなげよう 【ポイント】 『気づき・歩みよりシートを活用し新しい発見や気づきをみんなで共有し、支援につなげよう！』	【テーマ】 本人の思いに近づく事例研究会 ～寄り返う"プロセス"が対人援助の原点～ 【内 容】 (1)みんなで事例を共有し、理解を深めよう（KJ法） (2)支援の方向性を導き出そう（グループディスカッション） 【ポイント】 『深めよう、本人への理解。強めよう、チームアプローチ！』	【テーマ】 笑顔をつなぐ家族支援 ～高齢者虐待の未然防止に向けて～ 【内 容】 (1)学ぼう！「家族支援」 (2)グループワーク ①本人・家族のちょっとした変化を振り返ろう ②"ほっと"メッセージを伝えよう 【ポイント】 『本人・家族が笑顔で暮らせるように、私たちが今できることを考えてみよう！』 ※認知症サポーター養成講座と兼ねて実施します。

≪お申し込み・お問い合わせ先≫
富田林市 健康推進部 高齢介護課 高齢者支援係（事務局）
ＴＥＬ　０７２１－２５－１０００　内線１８３　　ＦＡＸ　０７２１－２０－２１１３